

横濱新開タウン



荒井沢市民の森に植樹する愛護会会員。植えた木の周りはしっかりと踏み固め、ウサギ予防の網をかけ、竹の添え木3本で周りを囲う。



足元に気を付けながら、急斜面に植林する会員。女性会員も男性会員と一緒に作業する。

植樹で子どもたちが楽しめる森をつくろう

荒井沢市民の森愛護会

午前10時、「こくらく
広場」には荒井沢市民の
森愛護会のメンバー約30
人が集合。リーダーの西
川さん(愛護会企画担当)
当・県森林インストラク
ター)の説明を受けたあ
と、山へ向かう。
今年の早春の荒井沢は
暖かい。田圃に張られた
水はぬるみ、蛙の卵も心
地よさそう。オタマジャ
クシがもうすぐ見られそ
うだ。どうしようも
二匹、土の中から姿を現
せる。柔らかい日差しの中、ウグイスの澄んだ声
が、荒井沢の谷戸に春を告げる。まだ枯れ枝が多い里山に、ソマキチヨ
も春を知らせて演舞する。
この日の植樹予定は、力所のポイントへ約50m
オニクルミ、トチノキ、コナラ、ヤシヤブシ、

うた。どうも四、土の中から姿を見せる。柔らかい日差しの中、ウグイスの澄んだ声が、荒井沢の谷戸に春を告げる。まだ枯れ枝が多い里山に、ツマキチヨウも春を知らせて演舞する。

この日の植樹予定は、5カ所のポイントへ約50本、オニクルミ、トチノキ、コナラ、ヤシャブシ、クヌギを植える。

第1のポイントは川治池。下草が刈られ、日当たりもよい場所に穴を掘り、オニクルミを植える。「木の周りの土は足で踏み固めてください」と西川さんがアドバイス。「植えた苗木にはウサギよけの金網を被せさせて、周囲には竹の支柱をつけてください」。最長

「一、実感の声。
しめるよ。
ね」植樹の方に徐々場所に適する。
今回の一年を通雑木の伐木撤去などあとはコナラ、ノキなど

植樹は4年目にして下草刈りをして、風倒木、土壌の手入れを、中心に、山林を、日々に移動、その間に、木を植樹した。

元の提供している里山。市では管理を一般市民にゆだねており、「荒井沢市民の森愛護会」は荒井沢の管理を委託されているボランティアグループ。同愛護会では会員を募り、20世紀の森作りに参加しませんか」と呼びかけている。入会についての問い合わせ・申し込みは電話で、総務担当の本間さんへ。

オニクルミなど50本を植える

横浜市から鎌倉市にかけて広がる円海山のふもと、横浜市栄区の「荒井沢市民の森」を管理している市民ボランティアグループの「荒井沢市民の森愛護会（会長 野村政晴）」は3月10日、手入れをしてきた里山に荒井沢の風土に適した5種類の落葉樹を植樹した。

老の下山田さん(78)、「周りはカカトでこいつって踏むと良く締まるだ」と土固めを実技指す。

などおよそ7種
約130本植樹した
■愛護会会員
荒井沢市民の

類の木を

音頭『あらい沢』CDを発売



『あらい沢』のプロジェクト ケシト

荒井沢の歴史と自然 歌い込んだ音頭「あら」

『澤』のCDが誕生、振付
も付いて発売されてい

△編曲／原田博之
歌／江島ちあき(コロ)
ピアノ舞踊振付／藤井
鶴登代▽1,600円
申し込みは矢沢さんへ